

市町村名	渡名喜村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	渡名喜村多目的拠点施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章—2—(4)—(イ) 災害に強い県土づくりと防災体制強化	
担当部課名	民生課	—	事業実施 年度	平成 26 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ—9(2)、Ⅲ—9、Ⅲ—4	
事業内容	子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中 の予算額・執行額 【単位:千円】		26年度	27年度	28年度	30年度	合計	
	A. 予算現額	20,304	158,260	667,904	9,634	856,102	
	B. 執行済額	20,304	157,896	667,904	9,072	855,176	
	うち 交付金充当額	16,243	126,316	534,323	7,257	684,139	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.8%	100.0%	94.2%	99.9%	
	執行状況の説明	・H28年度は解体工事の過程でPCB等の廃棄物が解体施設内で発見されたことにより、解体工事の完了に不測の日数を生じたため、建築工事費が翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は99.9%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	多目的拠点施設基本設計の実施	目 標	実施				
		実 績	実施				
	実施設計、解体設計、測量土質調査、施工監理、解体工事の設計、資料収納倉庫の建設	目 標		実施			
		実 績		実施			
	施設改築工事実施	目 標			実施		
		実 績			実施		
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	多目的拠点施設基本設計の完了	目 標	完了				
		実 績	完了				
	平成29年4月1日の供用開始に向けて事業の着実な実施(実施設計書の完成、解体工事の完了、資料収納倉庫の建設完了)	目 標		完了			
		実 績		完了			
	平成29年4月1日の供用開始に向けた事業の着実な実施(建設完了)	目 標			完了		
		実 績			完了		

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度
	(子ども預り所) 育児に関する負担が軽減されるなど、子育て環境が充実したと感じたか(80%以上)含め、保護者へのアンケートにより、事業のあり方について検証する。	目 標	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
		実 績	—	—	—	—	—
	(老人福祉施設) 施設来場者数 2,351人以上/年	目 標	2,351人	2,351人	2,351人	2,351人	2,351人
		実 績	201人	1,812人	1,955人	1,390人	1,299人
状況説明	【R1年度】 ・(子ども預り所)条例等未整備、保育士・栄養士の未確保のため、供用開始ができていない。 ・(老人福祉施設)R2年1月中旬から供用開始のため、来場者は201人となり、目標を大幅に下回っている。						
	【R2年度】 ・(子ども預り所)R2年度中に条例等の整備はなされたが、保育士・栄養士の人材確保が出来ず開所ができてない。 ・(老人福祉施設)R2年度は供用開始後の施設のコロナウィル感染症対策等を実施の来場者は目標人数には届いてないが、77%の利用状況である。						
	【R3年度】 ・(子ども預り所)保育士・栄養士の人材確保・育成・定着の取り組みが必要である。 ・(老人福祉施設)施設の認知度の向上、イベントや事業等の開催を検討する必要がある。						
	【R4年度】 ・(子ども預り所)保育士・栄養士の人材確保ができていない為、供用開始ができていない。 ・(老人福祉施設)介護サービス事業の参加者の増や村行事等のイベントでの活用を検討する必要がある。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・(子ども預り所) 条例等の整備や保育士・栄養士の確保など、供用開始に向けた取り組みが課題となっている。 ・(老人福祉施設) 目標の来場者数が下回っていることについて、供用開始の遅れや、施設の認知度が低いことに課題があると思われる。 【R2年度】 ・(子ども預り所) 供用開始に向けた条例等の整備や保育士・栄養士の確保が課題。 ・(老人福祉施設) 目標の来場者数が下回っていることについては、コロナウイルス感染症対策等での事業実施が実施回数の減である。 【R3年度】 ・(子ども預り所) 供用に向けた人材確保が課題 ・(老人福祉施設) 目標の来場者数がコロナウイルス感染症対策を実施しながらの来島者数の確保。 【R4年度】 ・(子ども預り所) 供用に向けた人材確保が課題 ・(老人福祉施設) 目標の来場者数が下回っていることについては、介護サービス事業等の参加者の増やその他のイベント等の活用をして来島者数の確保。	【R1年度】 ・(子ども預り所) 条例等を整備し、保育士・栄養士の人材確保・育成・定着の取り組みが必要である。 ・(老人福祉施設) 施設の認知度向上、イベントや事業等の開催を検討する必要がある。 【R2年度】 ・(子ども預り所) 条例等の整備を年度中に完了したが、保育士・栄養士の確保に至っていない。 ・(老人福祉施設) 施設のコロナ対策を十分に行いながら、事業実施での来島者の人数を増やす。 【R3年度】 ・(子ども預り所) 離島町村共同採用試験等に参画しての保育士の人材確保を行ったが、応募者が0人という状況、人材確保が急務である ・(老人福祉施設) 来場者の目標確保のため、イベントや事業数の増の検討実施。 【R4年度】 ・(子ども預り所) 離島町村共同採用試験等や村単独の採用試験での保育士の人材確保を行ったが、応募者0人という状況、人材確保が急務である ・(老人福祉施設) 来場者の目標確保のため、イベントや事業数の増の検討実施

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】

- ・(子ども預り所) 供用開始に向けた条件整備に取り組み、子ども預かり所を供用開始する。
- ・(老人福祉施設) 今後は施設の利用者の増加を図り、地域住民が交流できる場をつくる等、介護事業等で活用する。

【R2年度】

- ・(子ども預り所) 供用開始に向けた保育士等の人材の確保をし供用開始する。
- ・(老人福祉施設) 地域所民の交流の場、介護事業等や、健康相談等を開設して、来場者の増を図る。

【R3年度】

- ・(子ども預り所) 沖縄県離島町村職員採用試験共同試験に参画しての保育士の確保を実施したが、応募者がいない為、大学、短大への採用に向けた説明会等の取組が必要。
- ・(老人福祉施設) 渡名喜村社会福祉協議会の事業、民生課の事業等としての健康講演会等を実施し、来場者の増を図る。

【R4年度】

- ・(子ども預り所) 沖縄県離島町村職員採用試験共同試験に参画しての保育士の確保を実施したが、応募者がいない為、大学、短大への採用に向けた説明会等の取組が必要。
- ・(老人福祉施設) 渡名喜村社会福祉協議会の事業、民生課の事業等を実施し、来場者の増を図る。

市町村名	渡名喜村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	渡名喜村多目的拠点施設整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部課名	教育委員会	教育行政課	事業実施 年度	平成26 ～ 令和3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9(2)、Ⅲ－9、Ⅲ－4	
事業内容	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度		合計	
	A. 予算現額	15,510	92,175	72,358		180,043	
	B. 執行済額	15,510	92,175	72,358		180,043	
	うち 交付金充当額	12,408	73,740	57,886		144,034	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	
	執行状況の説明	・R2年度及びR3年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う納期や資料収集の遅延により不足の日数を要したことから、工事等が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は100%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		進捗状況				
			○年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	歴史民俗資料館基本設計業務 歴史民俗資料館実施設計業務 歴史民俗資料館(1工区)施工監理業務 歴史民俗資料館(2工区)施工監理業務		目 標	・基本設計	・実施設計 ・1工区監理	・2工区監理	
			実 績	・基本設計	・実施設計	・1工区完了	・2工区完了
	歴史民俗資料館展示制作工事(1工区) 歴史民俗資料館展示制作工事(2工区)		目 標		・1工区工事	・2工区工事	
			実 績			・1工区完了	・2工区完了 ・供用開始
	収蔵品監理業務 展示ガイダンス・アプリ製作業務		目 標			・実施	
			実 績			・収蔵品監理業務完了	・ガイダンスアプリ製作業務完了
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			○年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	歴史民俗資料館基本設計業務 歴史民俗資料館実施設計業務 歴史民俗資料館(1工区)施工監理業務 歴史民俗資料館(2工区)施工監理業務		目 標	・基本設計	・実施設計 ・1工区監理	・2工区監理	
			実 績	・基本設計	・実施設計	・1工区完了	・2工区完了
	歴史民俗資料館展示制作工事(1工区) 歴史民俗資料館展示制作工事(2工区)		目 標		・1工区工事	・2工区工事	
			実 績			・1工区完了	・2工区完了 ・供用開始
	収蔵品監理業務 展示ガイダンス・アプリ製作業務		目 標			・実施	
			実 績			・収蔵品監理業務完了	・ガイダンスアプリ製作業務完了

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			○年度	○年度	○年度	○年度	R5年度 目標/発現年度
	歴史民俗資料館 年間利用者数 1,100人		目 標					1,100 人
			実 績					568 人
			目 標					
実 績								
状況説明 【R5年度】 ・R5年度の歴史民俗資料館の年間利用者数は、568人となっており、目標を下回っていて、およそ52%の達成率となっている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R5年度】 ・コロナ以降、R5年度から観光客が少しずつ回復してきてはいるが、コロナ前ほどの水準には回復していないため、利用者は伸び悩んでいた。 ・R4年度途中から資料館の供用開始をしているが、PRや情報発信等をうまく実施できていないことから認知度が低いことが課題と思われる。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R5年度】 ・歴史民俗資料館の認知度向上に向けたPRや情報発信に努め、宿泊施設・観光関係事業所等との連携も図っていく必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・村観光協会や旅客ターミナル、各宿泊施設にチラシ等を配置し、PR及び利用促進を図りながら、観光協会等と連携しフェイスブックやインスタグラム等のSNSも活用した情報発信に取り組み、認知度の向上を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・								

市町村名	渡名喜村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	渡名喜村防災行政無線デジタル整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－(4)－イ 災害に強い県づくりと防災体制の強化			
担当部課名	総務課	事業実施 年度	令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)			
事業内容	旧方式のアナログ放送からデジタル放送の更新を図ることで、災害情報及び防災情報等の防災情報伝達体制を強化し、村民や観光客に安心・安全な生活環境を整える。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		R3年度	○年度	○年度	○年度	合計		
	A. 予算現額	100,167				100,167		
	B. 執行済額	100,167				100,167		
	うち 交付金充当額	77,933				77,933		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
	執行状況の説明	当初予算額107,558千円から、入札残7,391千円を減額し、100,167千円の予算現額に補正した。また、世界的な半導体不足により機器の納品が大幅に遅れたため、令和3年度で35,569千円の執行、令和4年度に繰越し、64,598千円を執行して事業を完了させた。						
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	親局整備機器設置 1台		目 標	整備工事 の実施				
			実 績	整備工事 の完了				
	屋外拡声子局設置 5台		目 標	整備工事 の実施				
			実 績	整備工事 の完了				
			目 標					
			実 績					
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	防災行政無線機器のデジタル化整備完了		目 標	整備完了				
			実 績	完了				
			目 標					
			実 績					
			目 標					
			実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R4年度	R5年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	村民や観光客が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。		目 標	避難訓練 1回実施	避難訓練 1回実施			
			実 績	避難訓練 1回実施済	避難訓練 1回実施済			
			目 標					
実 績								
状 況 説 明	【R4年度】 ・11月2日に津波避難訓練(沖縄県広域地震・津波避難訓練)を実施、参加者84名参加 村が設定した避難行動時間内に全員が避難できており、確実に避難行動をとることができた。 整備した拡声子局からの伝達も良好である。 【R5年度】 ・11月2日に津波避難訓練(沖縄県広域地震・津波避難訓練)を実施、参加者76名 村が設定した避難行動時間内に全員が避難できており、確実に避難行動をとることができた。 参加した事業者に対してアンケートを実施し、参加した事業者は100%避難行動をとることができた。 【 年度】 ・							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R4年度】 ・親局、子局ともに問題なく動作しており、又防災行政無線による住民への周知等についても問題なく伝達できている 【R5年度】 ・設備の定期点検を年2回実施しており、問題なく動作している 【 年度】 ・			【R4年度】 ・住民世帯のアナログ受信機もデジタル受信機への取替(村単独)を実施しているが、全世帯への普及には至っておらず、今後さらなる普及に向けて取り組む必要がある 【R5年度】 ・今後も関係業者と連携を図り、設備の維持管理に努めていく 又、戸別受信機についても、引き続き全世帯普及に向けて努めていく 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R4年度】 ・帰島された島民を対象に戸別訪問を行い、受信機の更新に努めていく 【R5年度】 ・今後も定期的な設備の点検を実施し、防災行政無線が緊急時に問題なく動作するよう努め、普段から積極的な活用を実施する 【 年度】 ・								